

## 1月度「共通講座」活動記録

記録者：2班 岸岡

実施日 2025年2月7日（金） 天候：晴れ

場所 浪速区民センター

参加者 17人（1班：6人 2班：4人 3班：7人）

共通講座 10時～12時

テーマ 「生物多様性全般から淀川の淡水魚やイタセンバラの生態について」

講師 丸山 勇氣 大阪府立環境農林水産総合研究所

内容 **生物多様性**とは、様々な個性を持つたくさんの生物が、他の生物や環境と繋がりあいながら存在することを示す概念です。そこから私たちは食料や衣服、薬、木材、水質浄化、自然の景色等いろいろな恵みを受けています。その生物多様性には「生態系の多様性」「種の保全」「遺伝子の多様性」の**3つの階層**があります。それぞれの階層が健全に守られていることで、豊かな生物多様性が成立します。しかし現在日本の生物多様性には①開発など人間活動による危機、②自然に対する働きかけの縮小による危機③人間による持ち込まれたものによる危機④地球環境の変化による危機の**4つの危機**が迫っており、生物多様性の豊かさが失われつつあります。

大阪府内でも種の多様性が高い地域がたくさんありますがレッドリストになっているところも多くあります。その一つが淀川のシンボルフィッシュの天然記念物の「イタセンバラ」です。ワンドが無くなつたことで絶滅しましたが、ワンドを作りイタセンバラを放流することで復活。しかし外来種により又絶滅。今外来生物駆除に取り組み、成果が上がって生物多様性が復活してきていてその取り組みが紹介されました。

		
講師の丸山勇氣先生	大阪の自然から学ぶ生物多様性	ある外来生物による環境改変
		
イタセンバラの生活史	生物のつながり	会場風景